

# SEED (シード)

Vol.014  
2023.7月

令和5年度「駒大生社会連携プロジェクト」の採択プロジェクト、それぞれの活動が本格化しています。今号では、3つのプロジェクトから寄せられた活動の様子をご紹介します。

また、令和5年度「駒大生社会連携アイデアコンテスト」の新たなポスターもご紹介します。

## 【世田谷区部門】経営学部 小野瀬 拡先生プロジェクト活動報告 「デザイナーの仕事」をテーマに講義を開催



小林氏は、現在デザインファームShedのデザイナー兼PM(プロジェクトマネージャー)としてご活躍されています。

小野瀬プロジェクトでは、デザインのでACP普及を展開しようと考えています。そのための取り組みの一つとして、7月12日10時30分より種月館（3号館）の201教場にて、先輩である小林愛果氏(市場戦略学科2022年卒)をお招きし、デザインへの理解関心を深める講義を行いました。



デザイナーの仕事に関するお話は実にリアルで、経営学部出身だからこそそのデザイナーの可能性を感じました。そして、私たちが現在取り組んでいる作品に対し、小林氏よりひとつひとつアドバイスを頂きました。アドバイスを受けたことによって、自分以外の作品からも一層多くのことを吸収することができました。

貴重なお話をお伺いすることができ学びの機会を得られたこと、心より感謝しております。

## 【世田谷区部門】文学部 李 妍焱先生プロジェクト活動報告

今年度の活動が本格的にスタート！

5月31日、「ふかさわの台所」でキックオフ会を行い、李プロジェクトの活動が本格的にスタートしました。6月21日には世田谷沿線のまち歩きと、「100人の本屋さん」（世田谷線松陰神社前）にてインタビュー調査を実施。その翌週「ふかさわの台所」で行ったミーティングでは、初めてのインタビュー調査で感じたことを共有し、インタビュー調査に対する向き合い方について考えを深めることができました。7月12日には「BONUSTRACK」（世田谷区下北沢）でのフィールドワークを実施し、今回の研究対象であるコモンズについての理解を深めました。ゼミ生たちの気付きには驚かされることも多く、意見を交わすことで新たな発見を得ているという実感があります。慣れないフィールドワークやインタビュー調査に戸惑うことはわかりですが、どの活動にも真摯に取り組み、研鑽を積んで参ります。



## 【産学官連携部門】文学部 藤野 一之先生プロジェクト活動報告

地域の魅力を発信！企画展示の開催に向けて準備中

私たちは、埼玉県毛呂山町川角古墳群という文化財(地域資源)を活かして地域魅力の発見と発信を目的に、毛呂山町歴史民俗資料館・駒澤大学にて企画展示を計画しています。

川角古墳群とは、小規模な円墳からなる7世紀(古墳時代終末期)の群集墳であり、現在でも墳丘が良好に残っています。この企画展示では、時代の変化とともに川角古墳群がどのように利用されたのかについて、駒澤大学が行った測量調査の成果をふまえて紹介します。現在は企画展示に向けて、企画展示の構成やポスターの作成を行っています。



6月1日には毛呂山町歴史民俗資料館にて、学芸員の植田雄己氏と打ち合わせを行いました。ご覧になる方々に分かりやすく毛呂山町の魅力を伝えるため、試行錯誤しながら企画展示の準備を進めています。

「川角古墳群とは？」「毛呂山町ってどのような町？」「そもそも古墳時代って？」と思ったあなた！ぜひこの機会に、川角古墳群を現代まで大切に守ってきた毛呂山町の人々の思いを感じてみませんか？



# 【SDGs部門】医療健康科学部 村田 渉先生プロジェクト活動報告

## 学生を対象とした放射線の健康影響に関する実態調査（アンケート調査）

駒大生社会連携プロジェクト及び本学修士課程に所属する学生の研究の一環として、放射線教育及び放射線の風評被害対策を目的とした『学生を対象とした放射線の健康影響に関する実態調査（以下、本調査）』を実施しました。

はじめに、医療健康科学部の新井知大先生より、本調査に係る趣旨及び倫理事項に関する説明を行いました。次に医療健康科学研究科修士1年の中尾海太さんより、当該研究の内容及び本調査の内容について説明を行った上で、アンケート用紙を配布し、調査を実施しました。調査内容は、放射線に関する知識に加え、放射線災害を原因とした風評被害に関する意識等についてであり、選択式にて回答を得ました。

以下、本調査によって得られた知見を一部ご紹介いたします。

### 設問

東京電力福島第一原発事故の被災地における、次世代以降の人（将来生まれてくる子や孫など）への放射線による健康影響について、あなたの考えに最も近いものをお選びください。

### 選択肢

1. 起こる可能性は極めて低い。
2. 起こる可能性は低い。
3. 起こる可能性は高い。
4. 起こる可能性は非常に高い。

### 結果



### わかったこと

放射線の基礎知識を有する医療健康科学部に所属する3年生を対象とした場合、福島原発事故の被災地における次世代以降の人への放射線の健康影響の可能性が高いと回答する者はいなかった。



## 令和5年度「駒大生社会連携アイデアコンテスト」応募開始！

2023年7月25日（火）より、令和5年度「駒大生社会連携アイデアコンテスト」の応募受付を開始しました。駒大生の皆様のご応募をお待ちしております！

「駒大生社会連携アイデアコンテスト」の情報は、以下の大学ホームページに掲載しております。  
駒大生社会連携アイデアコンテスト：

<https://www.komazawa-u.ac.jp/social/about/komadaiproject/socialidea/>

### 令和5年度「駒大生社会連携アイデアコンテスト」今後のスケジュール

|           |                                 |
|-----------|---------------------------------|
| 8月25日（金）  | 応募締切                            |
| 9月15日（金）  | 第1次審査通過者発表                      |
| 10月14日（土） | 【第1次審査通過者】<br>プレゼンテーション用データ提出締切 |
| 10月21日（土） | 第2次審査・表彰式                       |



### 令和5年度「駒大生社会連携アイデアコンテスト」に関する注意事項



令和5年度「駒大生社会連携アイデアコンテスト」は、共催企業のご支援・ご協力によって開催できることになったものです。この度、共催企業のお名前を大学ホームページ等に公開できる運びとなりました。

一方で、説明会動画、企業から提供される各種資料・データ等の情報については、学内限定公開としております。**本コンテストに関する学内限定公開の情報を取得した場合、本コンテストへの応募の有無に関わらず、取得者ご本人の責任において厳正に管理してください。**

**当該情報は本コンテストへの応募以外の目的で利用することはできません。**

**共催企業から提供された機密情報は、学外への持ち出し・公開は一切厳禁といたします。**

## 共催企業制作

### 令和5年度「駒大生社会連携アイデアコンテスト」ポスター

令和5年度「駒大生社会連携アイデアコンテスト」は、以下の共催企業のご支援・ご協力をいただいで開催しております。ご支援・ご協力に感謝申し上げます。

#### Special Thanks

東急株式会社 様  
東急電鉄株式会社 様  
東急プロパティマネジメント株式会社 様  
株式会社ドトールコーヒー 様

なお、この度共催企業より、特別にポスターを制作していただきました。駒沢キャンパス内に設置されたポスター、または次頁をご覧ください。

# Green UNDER GROUND

5 stations , 5 colors .

ikejiri-ōhashi , sangen-jaya , komazawa-daigaku , sakura-shimmachi , yōga

## 駒大生社会連携アイデアコンテスト開催

応募テーマ **街とともに育つ『駅』と『カフェ』のプロモーションアイデア**

応募締切 **2023年8月25日（金）まで**

賞品 最優秀賞 1組（商品10万円分） 優秀賞 1組（商品5万円分）  
特別賞 若干組（商品5千円分） ファイナリスト奨励賞（3千円分）

応募方法 1次審査 大学及び共催企業による書類審査  
(2023年9月中旬頃発表) 最終審査 共催企業によるプレゼン審査  
(2023年10月21日開催予定)



詳しくはこちらのQR（HP）からご参照下さい。

お問い合わせ先：駒澤大学社会連携センター



「Green UNDER GROUND」とは  
田園都市線の地下へと潜る  
池尻大橋、三軒茶屋、駒沢大学、  
桜新町、用賀の5駅の  
リニューアルプロジェクトです。

各駅はこれまで以上に、  
安心・安全・快適・便利で  
サステナブルな駅へと生まれ変わります。  
5駅があるまちの個性は色とりどりで、  
魅力に満ちています。



そんなまちとともに、  
より“ワクワク”するまち、駅を  
目指して新たな挑戦を始めます。



<https://ii.tokyu.co.jp/grows/gug>





## 「駒大生社会連携プロジェクト」及び 「駒大生社会連携アイデアコンテスト」の情報を展示しています

2023年6月26日（月）より、種月館（3号館）2階のウズチリアの一部スペースにおいて、「駒大生社会連携プロジェクト」及び「駒大生社会連携アイデアコンテスト」に関する情報の掲示を行っております。

「駒大生社会連携プロジェクト」に関しては、令和4年度の採択プロジェクト7団体がまとめた活動報告とニュースレター『SEED』を掲示しています。

ニュースレターに掲載する記事は、各採択プロジェクトの広報担当者より、毎月寄稿していただいています。

実際に活動に携わっているメンバーだからこそ書くことのできる、臨場感あふれる内容です。



また、令和4年度採択プロジェクトによる活動報告は、約8か月に渡る活動の内容を2ページに濃縮した読み応えのあるものです。他では公開していないので、ぜひこの機会にご覧ください。

7月24日より、共催企業に制作していただいた令和5年度「社会連携アイデアコンテスト」のポスターも掲示しています。



駒澤大学の社会連携に関する最新情報は、  
社会連携センターのホームページでご案内しております。 → [社会連携センター「お知らせ」](#)